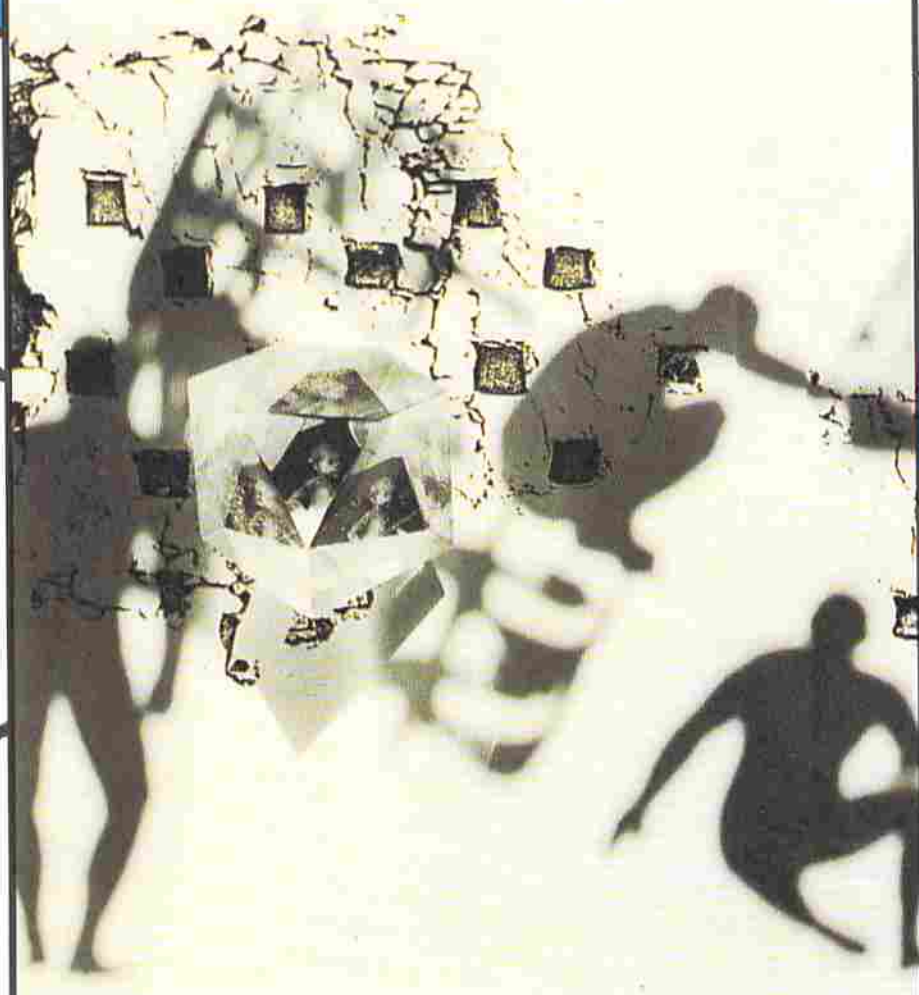


承 風



創立50周年記念誌

大阪府立 池田高等学校



50年の歳月とは、人一人の一生の内在り、書き綴られつつあり生きている歴史そのものであります。人一生のうち、この齢ですすでに熟せる時に到りつつありましようが、人を学ばせる場は、ようようにして基が姿を見せはじめたところでしょうか。そして、その基を礎として精緻さを加え整え続けなければならない期に入っていると云えましよう。その事を顕らかにし自覚する節が、歴史の頁を閉じ、新たに開くことでありましよう。関わる者全てによって。

今この机上に、昭和67年7月に本校生徒自治会が刊行した冊子「われらのあゆみ」が、誇らしげに在ります。創生期から生成期にか

けての若者の強さ、速さ、撃き、即ち清冽な若さそのものの進りを時を超えて読ませる、正に学舎とは美しきものと改めて認識を深め求められます。

「池田五十年史」と重ねてこの冊子を刊するにあたり、求めに応えんと豊かに知のもとを満々とたたえ、あまねく広く生育をうながす由来を承知し、諸事に諸人に共に感謝と願いを新たにいたしたいのであります。

平成2年3月

大阪府立池田高等学校長

人位 昇



昭和5年府立第16中学校として天王寺校舎でスタートを切って50年の月日を経ました。私は中学二期生として昭和6年4月現在の場所に府立園芸学校の旧校舎があり、そこへ入学しました。当時は古い平家の校舎で運動場も麦畑のままで、素足で朝礼に駆け込んだ時の足の痛さを思い出します。石橋の国道から池高道へ入ると、東側はうっそうとした竹藪のむこうに芋畑が広がり、五月山に続いていました。乗合馬車が重そうに坂を歩いていた様子が偲ばれます。3年生になって、やっと木造二階建の新校舎が出来ました。しかし4年生の学徒動員中に戦災で焼け落ち、遂に卒業するまで校舎で勉強することはありません

でした。

その後、段々と現在の立派な学園に整備され、充実した学生生活を送っている様子を見る時、今昔の感に堪えません。

幸い元気で50周年記念実行委員長をさせて頂き、卒業生・在校生共々池高の年輪の大きさをお祝いする事が出来るのは、誠に有難いと感謝しております。今回の事業に対し、池田高校に御縁のあるあらゆる人の大変な御協力を衷心より御礼申し上げます。

50周年記念事業実行委員長

岡本直文



▲体育館



▲玄関



▼北館





▼1F 食堂・2F 柔剣道場





(昭和42年)



合格発表

(昭和61年)



(昭和31年)

登校風景



(平成元年)



(昭和16年)

入学式



(昭和61年)



(男女共学始まる・昭和23年)

対面式



(昭和61年)



勤勞奉仕 (昭和18年)



授業風景 (昭和63年)



学徒動員 (昭和19年)



(昭和63年)



(昭和28年頃)

昼食風景



(昭和63年)



(昭和35年)

憩のひととき



(昭和63年)



(昭和44年)

文化祭



(昭和63年)



(昭和34年)

ファイヤーストーム



(昭和63年)



(初めての仮装行列・昭和24年)

体育祭



(エール・昭和63年)



駅足訓練 (昭和17年)

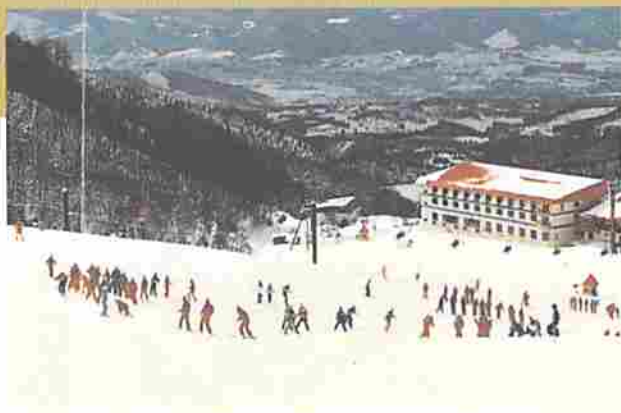


遠足 (昭和62年)



(22期九州)

修学旅行



(40期蔵王)



(21期九州)



(41期吉岐)

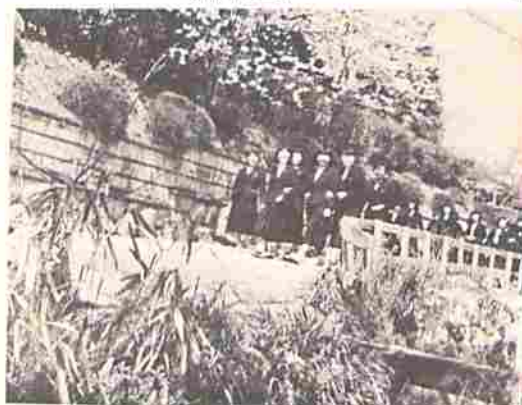


(昭和42年)

卒業式



(平成元年)



(昭和31年)

下校風景



(昭和63年)

- 昭和15年4月 ● 「大阪府立第16中学校」として、大阪市天王寺区大道5丁目の府立盲学校跡地に創立。初代校長に庄静夫。中学1期生は志願者606、合格者252。
- 昭和16年3月 ● 大阪府池田市大字畑160番地の府立園芸学校跡に移転、「大阪府立池田中学校」と改称。
- 4月 ● 移転完了。4月16日を創立記念日に定む。校地を「承風台」と命名。
- 昭和18年3月 ● 新校舎第一期工事完成（普通教室36、体育館など）。
- 昭和19年2月 ● 「池田中学校校歌」誕生。
- 6月 ● 武道場、工作室、普通教室の一部を住友プロペラ製作所、食糧営団、交易営団に接収される。
- 7月 ● 防火用水池（プール）誕生。
- 5年、4年、次いで3年生が勤労動員（中央郵便局、大発、住友化学、三浦工作所、光学ガラスなど）。
- 昭和20年3月 ● 庄校長退職、2代校長に佐々木茂八着任。
- 6月 ● 空襲のため普通教室24、体育館、工作室、特別教室棟など焼失。奥村孝道（中学3期）爆死。
- 昭和21年11月 ● 戦災校舎一部復旧工事完成（12教室）。
- 昭和22年4月 ● 学制改革に伴い、上級2学年を新制高等学校生徒、下級2学年を併設新制中学校生徒と定める。
- 昭和23年4月 ● 新制「大阪府立池田高等学校」設立。男女共学実施され、大阪府立豊中高等女学校（現・桜塚高校）と交流（本校生168名、教員7名が桜塚高校へ、豊中高女生徒252名、教員10名が本校に）。
- 5月 ● 佐々木校長退職。
- 生徒自治会、PTA、クラブ組織（文化部13、運動部14）誕生。
- 10月 ● 3代校長に後藤安久着任。



天王寺時代の校舎と生徒



昭和16年移転当時の全景

- 昭和24年1月 ● タッチフットボール部全国制覇。
- 2月 ● 放火により戦災復興12教室全焼。全生徒復興資金獲得アルバイト開始。
- 4月 ● 大阪府立海外商業学校廃校となり、同校生徒80名を受け入れ、商業科2組を併設。
- 6月 ● 同窓会組織「承風会」誕生。
- 昭和25年1月 ● サッカー部全国制覇。
- 3月 ● 火災焼失復興校舎第一期工事完成。
- 9月 ● 創立10周年記念行事挙行。
- 昭和26年1月 ● タッチフットボール部全国制覇。
- 火災復興第二工事として本館竣工。
- 昭和27年2月 ● 旧体育館竣工。
- 3月 ● 商業科廃止。
- 4月 ● 後藤校長転出、4代校長に金子睦夫着任。
- 昭和28年4月 ● 学校食堂誕生。
- 昭和29年2月 ● 「池田高等学校校歌」制定。
- 昭和30年7月 ● 女子硬庭部村山誠子全国制覇。
- 昭和32年3月 ● 金子校長転出、5代校長に秋山敏着任。
- 6月 ● 第2運動場（バレーコート2面、硬式テニスコート3面）竣工。
- 昭和35年4月 ● 創立20周年記念行事挙行。承風会館建設。
- 5月 ● 秋山校長退職、6代校長に土屋憲三着任。
- 昭和37年4月 ● 本校初の鉄筋校舎竣工。
- 「能力別編成学級制（3・8制）」発足。
- 昭和38年4月 ● 土屋校長退職、7代校長に北川昂着任。
- 昭和39年4月 ● 校舎全面改築工事、校舎鉄筋工事開始。
- 10月 ● 校旗誕生。
- 昭和40年4月 ● 鉄筋3階建特別教室棟一期工事竣工。
- 昭和41年2月 ● 鉄筋3階建特別教室棟二期工事竣工。
- 4月 ● 北川校長退職、8代校長に岸石謙吉着任。
- 昭和42年3月 ● 鉄筋4階建本館棟一期工事竣工。
- 昭和43年3月 ● 鉄筋4階建本館棟二期工事竣工。
- 10月 ● 「池高紛争」始まる。



昭和26年に完成した本館

昭和44年 3月 ● 鉄筋4階建本館棟三期、玄関ポーチ工事竣工。

11月 ● 「3・8制」廃止決定。

昭和45年 2月 ● 女子運動部合宿許可。

● 新体育館竣工。

4月 ● 栗石校長退職、9代校長に高谷重夫着任。

9月 ● 創立30周年記念行事挙行。記念碑「承風」建立。

昭和46年 3月 ● 柔道場兼食堂棟、体育クラブ室棟竣工。

昭和47年 3月 ● 運動場大補修工事、プール付属棟改修工事竣工。

昭和48年 1月 ● 「標準服制度」実施。

4月 ● 必修クラブ開始。

昭和50年 4月 ● 高谷校長退職、10代校長に西田駿夫着任。

昭和51年 8月 ● 陸上競技部国方卓110mハードルで全国制覇。

昭和52年 1月 ● 「池田高校後援会」発足。

昭和54年 4月 ● 芸術科に「工芸」開講。

昭和55年 4月 ● 西田校長退職、11代校長に三上五城着任。

● 創立40周年記念行事挙行。

8月 ● 鉄筋3階建北館新築工事竣工。

昭和58年 4月 ● 三上校長退職、12代校長に塚本盛治着任。

11月 ● 不審火により運動部室焼失。(翌年再建)

昭和62年 4月 ● 塚本校長退職、13代校長に人位昇着任。

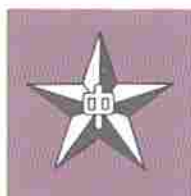
昭和63年 6月 ● 学校機械警備制度発足。



現在の本館と体育館

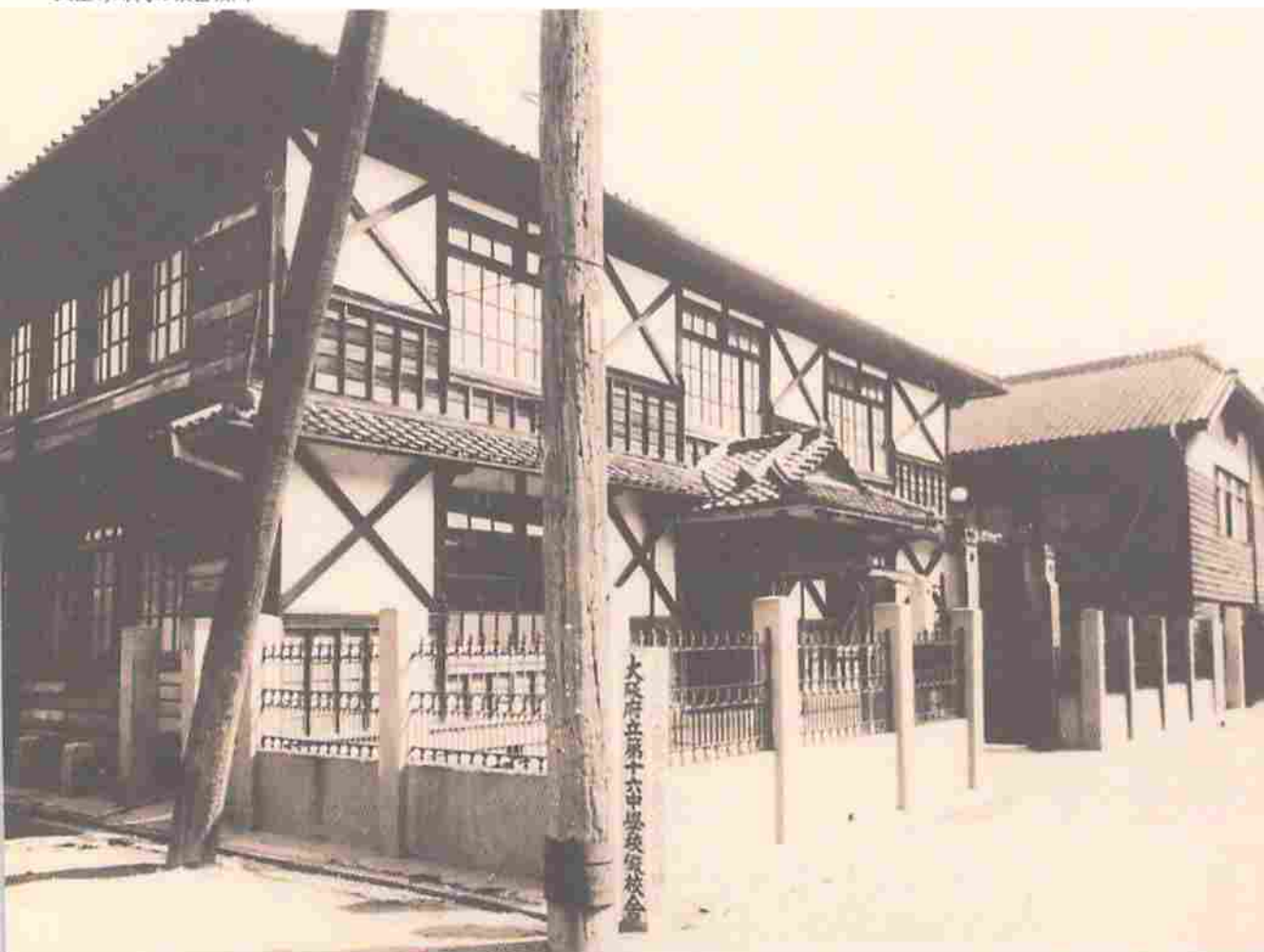


大阪府立池田中学校歌
 加野高行作曲
 青嵐吹く三月山
 千古に清い苔の水
 碑(青天文経)を
 玉川流すの学舎は
 岐路(北)に全期止
 先(何)くも御言
 究(格)か(母)元
 玉(我)の(誓)を(堅)く
 旗(し)を(起)し(人)夫(夫)
 使(命)を(生)き(じ)ひ(命)
 同(道)の(味)を(見)
 文武(二)に(分)け(手)
 聖(の)新(道)を(歩)
 降(ろ)を(承)け(し)候(は)立
 水(文)に(損)へ(し)水(風)は
 不(美)し(國)神(の)國
 御(校)成(治)に(東)西
 土(一)人(の)古(人)の
 血(潮)に(燃)き(て)答(へ)り
 雄(叫)び(高)御(民)の(心)



当時府立中学はほとんど六稜であったが、本校は第16中学校として誕生したので、白線一本に六の字をあらわす五稜を象どったのである。また、北摂池田の地に移ったため、大阪北部としての北極星を示し、新進気鋭の校風にふさわしいものといわれた。

天王寺時代の校舎校門



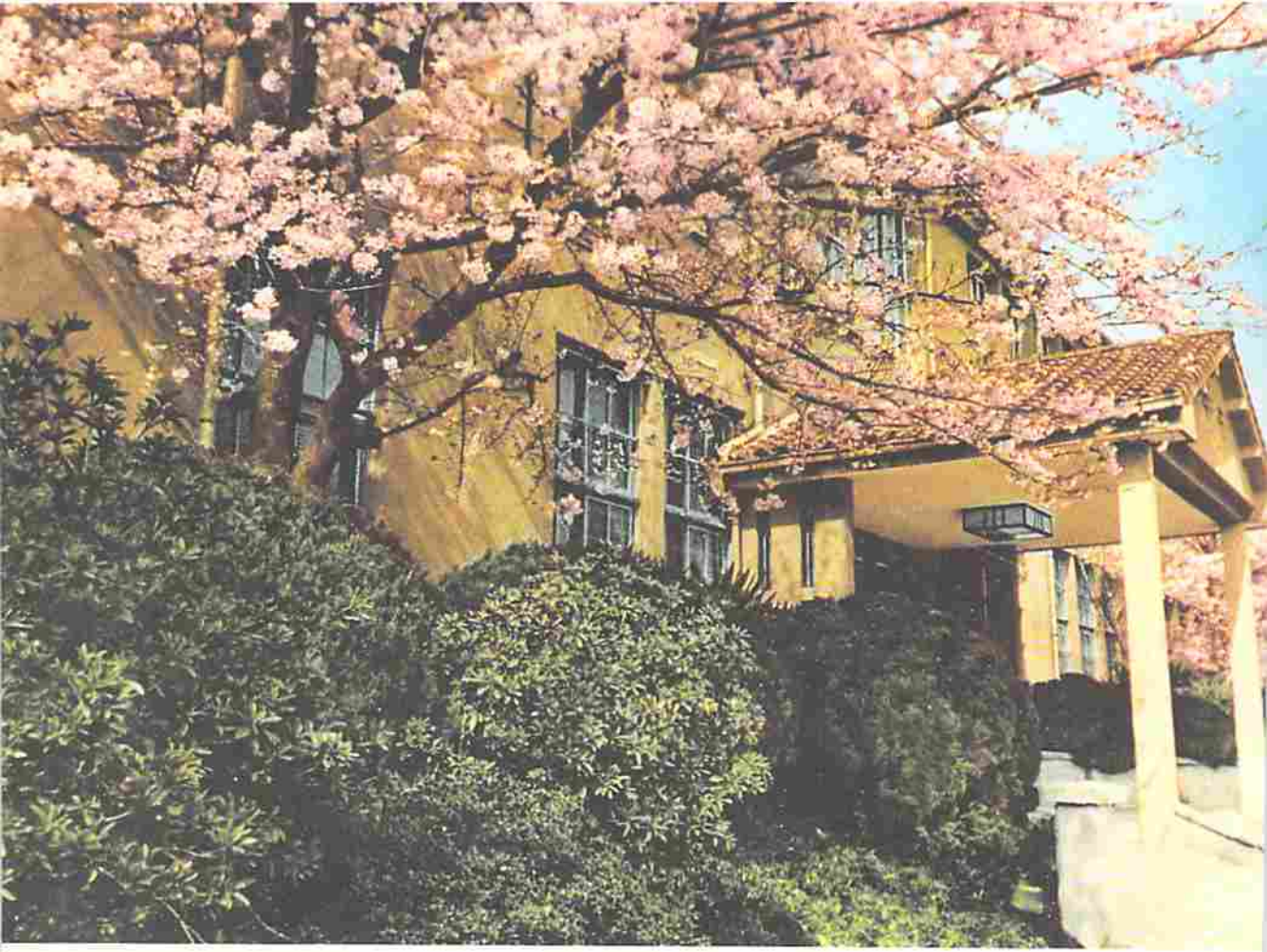
大阪府立池田高等学校校歌
 竹中 邦行詞
 田代政康作曲

空のひろきに胸を張り
 競り安ら風は立つ
 雲の上いさぎやく
 山に佇む鳥の羽はたぎは
 空の白さに呼ばれり
 いさぎやく安ら風を
 この空に
 この空歌
 いづの若くともよめに
 人とならばと待たれら
 道を行くかに目をさそ
 はげに安ら風をそ
 この年床
 この年床
 真理を汲みよる掛
 ひそに深きすく華つ



現在地は古代文化を伝えた帰化人が来朝した秦野(細)の地名のある所で、昭和初期には数千本の梅の木があり、風流人はひさごをさげて梅花を愛でた。梅鉢はそれを物語り、かつ学問の神天満天神の紋所でもある。中央にIKEDA HIGH SCHOOLの頭文字IとHを組み合わせた。

旧本館最後の春（昭和42年）

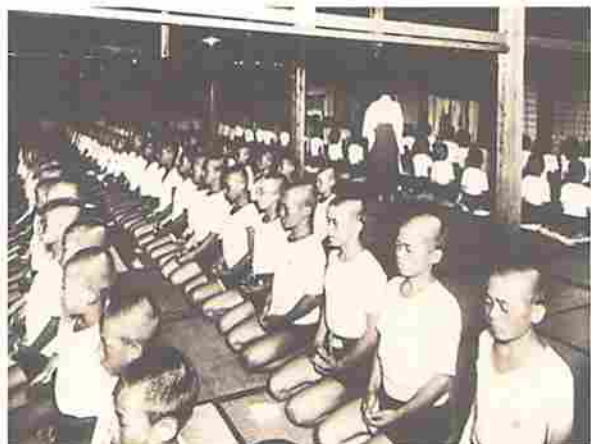




府立第16中学校第1回入学式は天王寺師範を借りて昭和15年4月16日に行われた。運動会は10月吉野山で開かれた。全員上半身裸で棒倒し、徒競争、手榴弾投げ等の種目があった。また校外教授として、夏に京都山良海岸で全校生徒の合宿訓練が催された。昼は水泳。夜は山良神社で厳しく座禅を組んだ。



◀ 防空演習(昭和17年)



▼ 行軍(昭和18年)

昭和16年12月太平洋戦争勃発
 学校は非常時一色に塗り潰された。

▼ 馬車訓練(昭和18年)

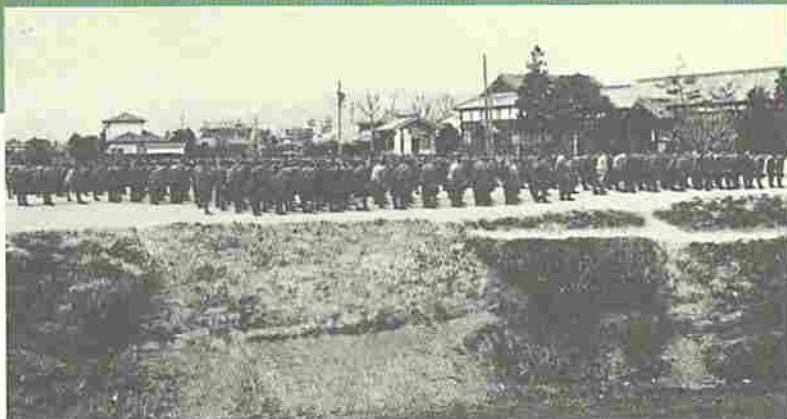


◀ 滑空訓練(昭和17年)





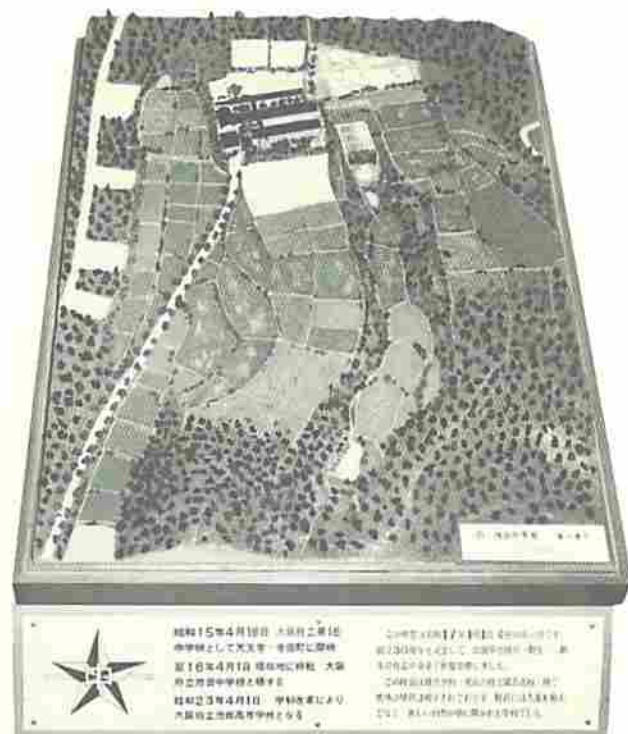
▲移転当時の校門(昭和16年)
現在とは角度が違った



▲朝礼風景(昭和16年)現在のプール付近から撮影



▲校舎建設・運動場拡張工事



▲創立30周年を記念して作られた移転当時の復元模型
(制作者は佐江木了治氏)現在図書室入口に陳列



▲1号校舎の棟上、2・3号校舎の基礎工事



▲完成した校舎(昭和18年)わずか2年で焼失した



▲戦災復興新校舎落成記念祭(昭和21年)



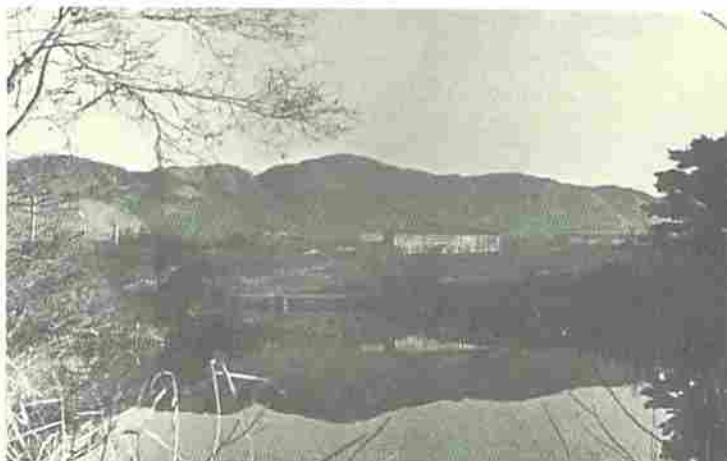
▲男女共学最初のクラス写真(昭和23年)

大阪府立池田高等学校

◀昭和23年学制改革当時の門構



▲昭和40年代半ばまで池高には2つの体育館があった。上は、18年に建てられ、戦災を免れた旧体育館(現在自転車置き場になっている)。下は、27年に建てられた新体育館(現在北館が建っている)



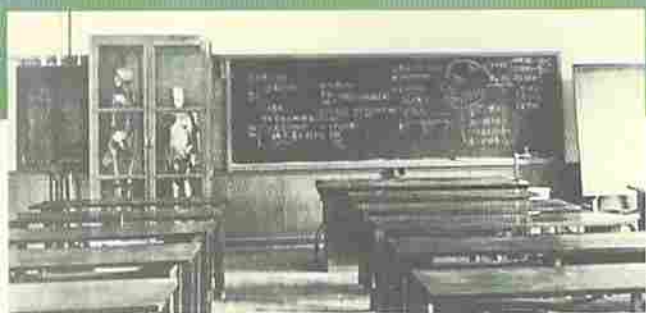
▲狭間池(現在は敬老会館)から池高を望む



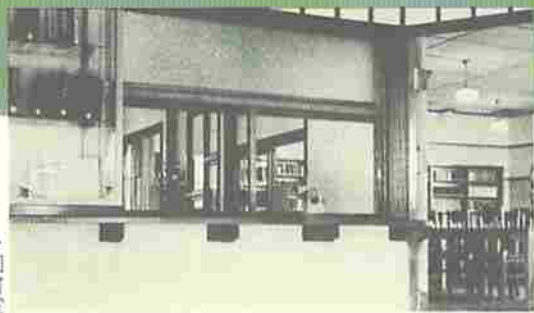
▲バックは現在の第2運動場



▲登校風景(昭和35年)



◀ 生物講義室



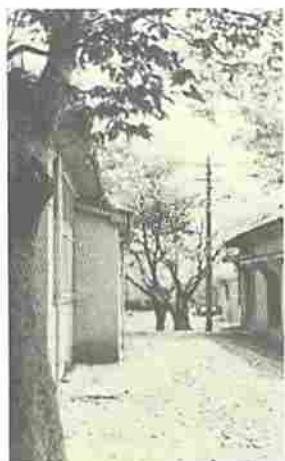
▶ 図書室



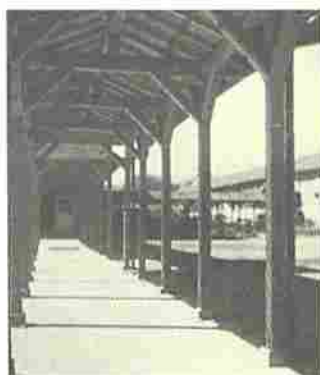
▶ 化学実験室



◀ 事務室 (昭和31年)



ここかしこに、私たちの足あととは、今も残っているような気がするのだが……



◀ テニスコートも承風会館もなかった。道路の左側は一面の麦畑で



▲ 第2運動場の完成 (昭和33年)



▲昭和30年頃の全景、右下の校舎の位置が下の写真のプレハブ教室



▲昭和44年5月の全景、旧体育館も残っており校舎の建て替えの様子がよくわかる

廊下の変遷



◀ 視聴覚教室 | 図書室
音楽教室 | 食物教室

敬老会館前の三叉路の変遷



▲昭和35年頃



▲昭和45年頃



▲現在



▲昭和16年頃の石橋駅



▲現在の石橋駅



▲昭和26年頃のらくだ道（中央線）



▲現在のらくだ道



24年の優勝チーム

● タッチフットボール部 (昭和24・26年)

(現アメリカンフットボール部)



26年の優勝チーム

● サッカー部 (昭和25年)


- タッチフットボール部は昭和24年1月全日本選手権大会に於て麻布高を27対6で破り優勝した。そして昭和26年1月には同じく慶応高を15対6で破りV2をはたした。
- サッカー部は昭和25年1月全国高校サッカー大会に於て宇都宮高を2対0で破り優勝した。



両部の優勝記念碑(校門横)


● 硬式テニス部／村山誠子 (昭和30年)


- 硬式テニス部の村山誠子は昭和30年7月全国高校テニス大会女子シングルスに於て福田(大阪大谷高)を2対1で破り優勝、同年10月の国体に於てもチーム戦の主力メンバーとして優勝した。
- 陸上競技部の国方卓は昭和51年8月全国インターハイ・110米ハードルに優勝した。

● 陸上競技部／国方卓

(昭和51年)



前列中央国方卓



三宅弘人



西良正也



白井美知子

水泳部・三宅弘人は昭和22年、200米バタフライで大阪高校新記録を樹立した。

柔道部・西良正也は昭和26年大阪府個人大会に優勝した。

陸上競技部・白井美知子は昭和29年大阪府民大会80米ハードルに優勝した。

硬式テニス部・鳥井信一郎と井内元は昭和30年全国高校テニス大会で活躍し優秀選手として表彰された。他にも多くの選手が全国大会で活躍している。



柔道部一年間に4度府大会に優勝 (昭和26年)



左から井内元、鳥井信一郎



ハンドボール部大阪府民大会優勝 (昭和32年)



バスケットボール部大阪府民大会優勝 (昭和32年)

最近では私立高校の躍進がめざましく、また府立高校の数も増えたので過去の栄光と肩を並べるような華々しい活躍はきわめて困難になっている。その中で平成元年にはアメリカンフットボール部が春季大阪府大会に優勝、硬式テニス部が大阪高校総体女子ダブルスで準優勝を飾った。



優勝チーム



準優勝ペア(左から安田恭子、大城瑠子)



昭和35年入賞当時のユネスコ部員

●ユネスコ部全国コンテストで連続受賞

(昭和31・33～41年)

入賞した研究テーマ (※印特賞)

- ※31年西ドイツの現実と背景の研究
- ※33年世界における人権差別の研究
- ※34年中近東における国際緊張とその背景
- ※35年日本における人権と諸問題
- ※36年南米移住の研究
- ※37年姉妹都市の研究
- ※38年アジアの教育制度
- ※39年飢餓への挑戦
- ※40年大学の入試問題
- ※41年東南アジア留学生の実態



●地歴部で全国学芸コンクールで文部大臣奨励賞を受賞(昭和35年)



当時の地歴部員



NHK教育テレビに出演
(昭和37年)



「郷土のすがた」は現在も発行されている
(左は最新号「高山右近と高山」)



石原久夫



細見 英



野田大祐



亀田清美



下西敬子



田中朱美



平松郁子

●ESSの活躍

大阪府英語弁論大会に於て細見英が昭和25・26年連続一位となったのを筆頭に石原久夫・亀田清美・下西敬子・田中朱美がそれぞれ24・39・40・43年に一位となった。

また、野田大祐は25年全関西のRecitation Contestで一位、平松郁子は14年YMCAスピーチコンテストで一位を獲得した。

●放送部全国コンクールで優秀作品賞を受賞（昭和39年）



当時の放送部員



「僕に拍手を」

●点訳同好会長年の功績により厚生大臣賞を受賞（昭和59年）

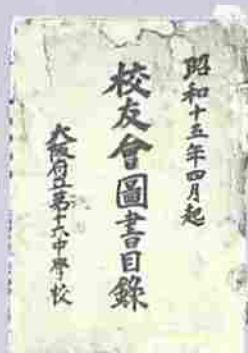
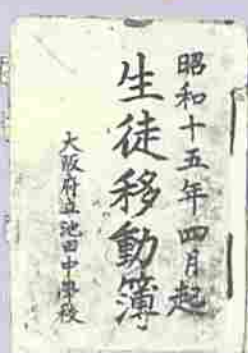
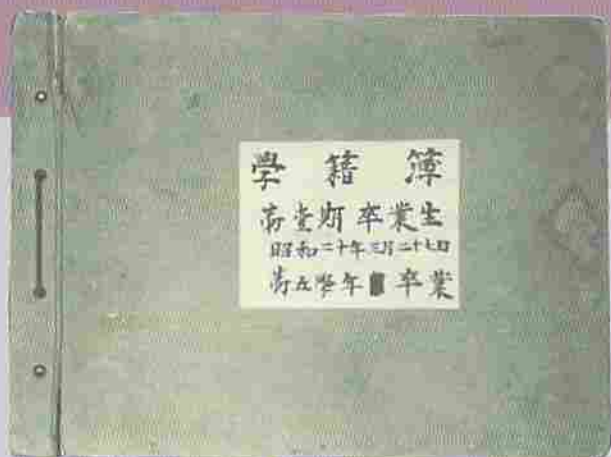


当時の点訳部員



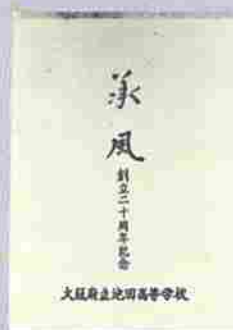
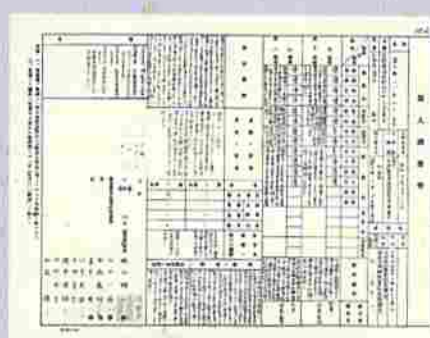
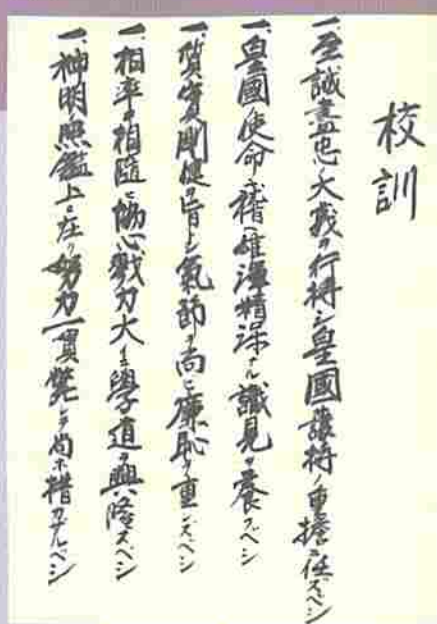
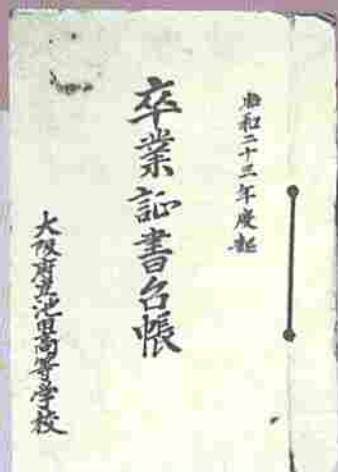
一行住坐臥至誠盡忠の大義を行持し
 皇國護持の重擔に任すべし
 一皇國の使命を准ひ雄渾精深なる識見を養ふべし
 一氣節を尚ひ麻恥を重んずべし
 一質實剛健正大闊達の氣宇を養ふべし
 一修文練武己が本分と恪守し斃れて尚ほ措かざるの志氣と旺ならしむべし

五 誓言



南方塾は、昭和16年ごろ大阪府庁経済課の所管として、タイ・シンガポール等で貿易に従事する人材養成のため発足。塾は発展し海外商業学校となったが24年4月廃校、同校生80名を受け入れ3年間のみ商業科を併設した。





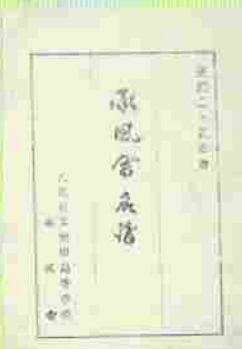
中学校の教科書

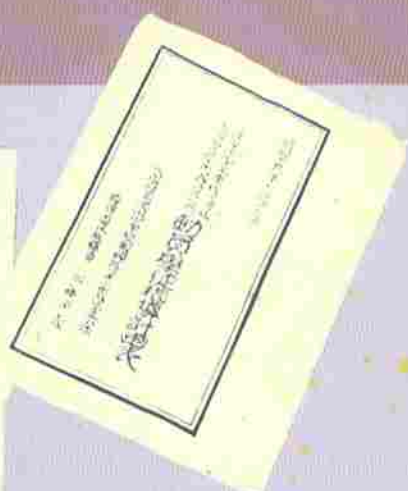


商業科のクラス雑誌



承風だより

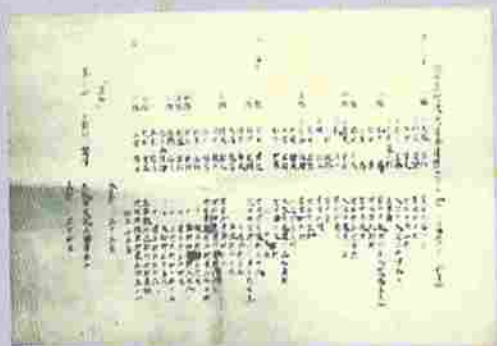




戦災当日の教務日誌

本校は2回の不幸な火災にあっている。20年6月7日0時42分、B29群が二百数十発の焼夷弾を投下、体育館をはじめ24教室が瞬時に消えた。さらに24年2月26日20時5分、教室の2ヶ所から同時に出火、12教室が烏有に帰している。原因は今なおわからない。

火災当日の教務日誌



復興アルバイト名簿



初代・庄 静夫



2代・佐々木茂八



3代・後藤安久



4代・金子睦夫



5代・秋 山 敏



6代・土屋憲三



7代・北 川 昂



8代・伊 石 鐮 吉



9代・高谷重夫



10代・西田駿夫



11代・三上五城



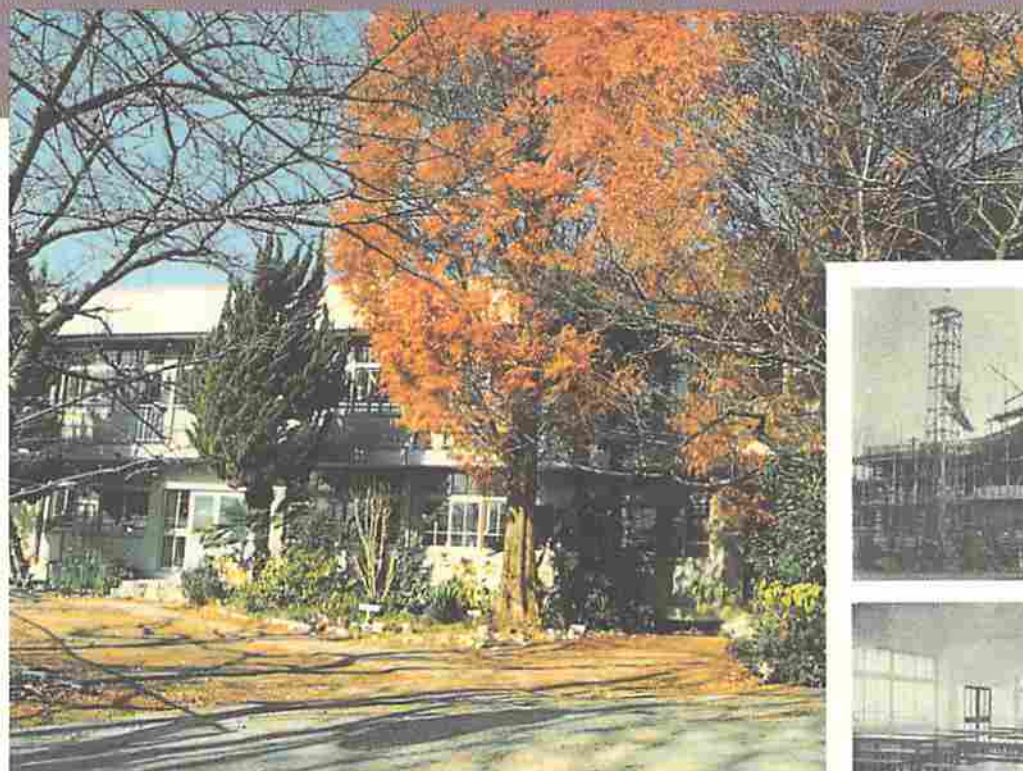
12代・塚本盛治



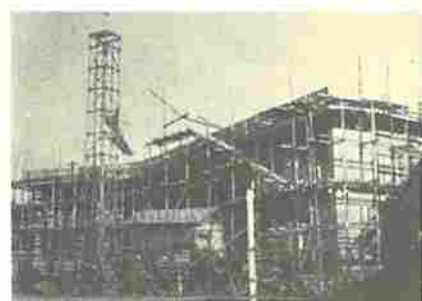
創立時

昭和63年

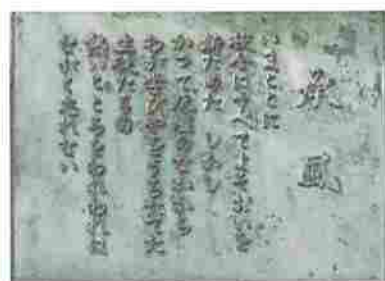




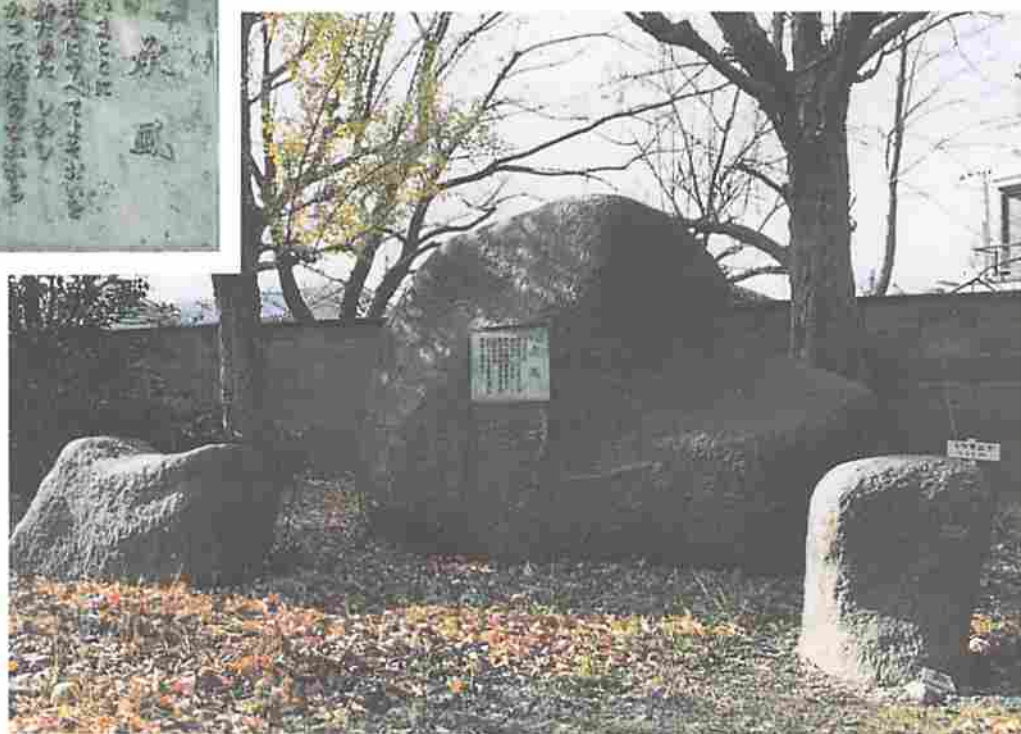
▲承風会館……創立20周年記念事業として有志の募金により、昭和35年2月13日竣工。一階は、古くは学校食堂として、現在は工芸教室として活用されている。



▲食堂時代



▲碑文



▲承風碑……放火のため焼失した校舎再建の苦労話を聞いて感激した第8代校長半石鎮吉が退職に際し、数十万円のポケットマネーを出し建碑を強く望んだ。その志により創立30周年記念事業の一つとして建立されたのがこの碑である。

編集後記

「編集とは時間なり、編集とは妥協なり。」これが現在の偽らざる心境です。1人でも多くの人が1ページ1ページを丁寧に視て下されば、私たちの時間が報われると信じます。

「50年」ということで総まとめの意味からも20年史、30年史、40年史から多くの写真を再録しました。その際、三善先生はじめ過去の編集者がネガや写真を見事に整理・保存しておられたのには感激した次第です。ほかにも多くの方々のお世話になりましたが、特に撮影から編集のアドバイスまでひとかたならず御協力していただいたロイヤルスタジオ、ひかり工房喜田孝二専務には厚く感謝の意を表します。

(井村・氏林・一谷)

50周年記念事業実行委員会 委員長：岡本直文

承風会、PTA OB会、現PTA、池高後援会

校内実行委員会

大阪府立池田高等学校 大阪府池田市旭丘2-2-1 (0727-61-1131) 平成2年3月1日発行

表紙 氏田秀明、長谷田三保子
印刷 ひかり工房

